

年度 2009 学期 前期	曜日・校時 水 曜日 1・3 校時	必修選択 選択	単位数 2
授業科目/(英語名)	日本語Ⅱ Advanced JapaneseⅡ		
対象年次 1, 2年次	講義形態 演習	教室 留学生センター	
対象学生(クラス等)	留学生・全学部	科目分類 留学生用科目	
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員: 松本久美子 / E メールアドレス: kumiko-m@nagasaki-u.ac.jp / 研究室: 留学生センター /TEL: 095-819-2242 / オフィスアワー: 水曜日 2・4 校時			
担当教員(オムニバス科目等)			
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 (500 文字) 授業のねらい: 日本の大学学部で学習・研究するのに必要な上級レベルの日本語能力(とくに読解能力)を習得する。 授業方法: 現代日本について書かれた、様々な種類の文章を読む。 授業到達目標: 上級レベルの文法や語彙・文字を習得するとともに、上級レベルの文章を読解する能力を獲得する。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) (1300 文字) 基本的には教科書の課にそって授業を進める。授業では、(1) 本文の音読、(2) 文型・語彙・表現の確認、文型・表現練習 (3) 内容確認、(4) 本文の内容に関するディスカッション等を行う。 各回 2 コマ 第1回 オリエンテーション 第2回 読解・ディスカッション 第3回 読解・ディスカッション 第4回 読解・ディスカッション 第5回 読解・ディスカッション 第6回 読解・ディスカッション 第7回 読解・ディスカッション 第8回 読解・ディスカッション 第9回 読解・ディスカッション 第10回 読解・ディスカッション 第11回 読解・ディスカッション 第12回 読解・ディスカッション 第13回 読解・ディスカッション 第14回 読解・ディスカッション 第15回 まとめ/授業評価 (試験を実施する場合でも、‘定期試験’のみの記載ではなく、試験のみで完結しないような表現(‘まとめ’や‘全授業の総括(試験含む)など)で記載願います。)			
キーワード	上級レベルの日本語読解能力の獲得		
教科書・教材・参考書	『中級から上級への日本語』 The Japan Times		
成績評価の方法・基準等	評価は、授業参加の積極性 30%・授業中の発言内容 30%・レポート 40%によって行う。		
受講要件(履修条件)	日本語能力試験 2 級合格相当または日本留学試験(日本語科目) 200 点得点相当の日本語能力を有する留学生。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	日本の大学学部で学習・研究するのに必要な日本語能力(とくに読解能力)の習得。		
備考(準備学習等)	1 校時目と 3 校時目の両方とも出席すること。一方のみの出席は認めない。		